

講習の名称	【選択必修】 学校・家庭・地域の連携と協働
講習の概要	前半は、昨今の学齢児童・生徒を対象とした地域学校協働活動の取り組み、さらには自主夜間中学等、義務教育機会確保法の趣旨に沿った学習支援と家庭・学校との連携に関して担当講師が講義を行う。後半は、講義内容に関して小グループでの討議を行い、学校の教育活動と家庭及び地域との連携・協働の多様性および可能性について実践的な認識を深めるものとする。討議終了後、筆記試験を実施する。
担当講師	安藤 耕己（地域教育文化学部担当教授）
講習開設日	令和3年8月8日（日）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス A5（基盤教育3）3階 333教室
対象職種	教諭・養護教諭向け
主な受講対象者	小学校 中学校
受講予定人数	9人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	事前準備：勤務先や自らが関わっている学校外での広義の教育支援活動（放課後子ども教室、学童保育、地域学校協働活動・NPOとの協働事業、子ども会やスポーツ少年団、伝統芸能の継承等々）や家庭教育支援（保護者相談、家庭訪問、子育て講座、親子サークル等々）について、その現状と学校との連携・協働等に関わっての課題等を簡単に説明できるようにメモ等を準備しておくこと（レポートではない）。
評価基準	合格基準 ①全時間出席していること ②テストの得点が60点以上であること
評価の観点	①講習内容を理解し、簡潔かつ明確に説明することができるか否か。 ②講習内容と討議における整理とをふまえ、具体的に学校・家と地域社会との協働に基づく事業や取り組みを構想できるか否か。
その他特記事項	